

第6回企画展

呉と潜水艦

潜水艦の研究開発と建造拠点・呉

期間 平成19年4月27日【金】～6月18日【月】

場所 大和ミュージアム1階 大和ホール

■料金

一般〈大学生以上〉……300円(700円)

高校生……200円(400円)

小・中学生……100円(200円)

※()内は常設展示とのセット料金

■開館時間・休館日

開館時間:午前9時～午後6時

休館日:火曜日(祝日の場合は翌日)

ゴールデンウィーク期間中は無休

■お問い合わせ

〒737-0029 広島県呉市宝町5-20 TEL 0823-25-3017

ホームページ <http://yamato.kure-city.jp/>

■主催:呉市 ■協賛:海と船の博物館ネットワーク協議会



■アクセス

電車・バスでお越しの場合
JR呉駅から徒歩5分
または、呉市営バス宝町中央循環線
「ゆめタウン・大和ミュージアム前」
下車徒歩1分
お車でお越しの場合
クレアライン呉ICから約5分
西条ICから約1時間
フェリーでお越しの場合
呉中央桟橋から徒歩1分

 **大和ミュージアム**

呉市海事歴史科学館

 **日本財団** 助成事業
The Nippon Foundation

 呉市
この企画展は特別の交付金による
日本財団の助成金を受けて実施します。

呉と潜水艦

潜水艦の研究開発と建造拠点・呉

開催にあたって

「潜水艦」とは、文字どおり水中に潜ることが出来る艦のこと。

水面のみを平面的に活動する水上艦艇とは違い、浮いたり沈んだりして水上から水中までを立体的に活動できる艦種なのです。

「潜水艦」は“海の忍者”とも称されるように、その存在はまさに神出鬼没。

さまざまな特徴をもった「潜水艦」に興味を持たれる方は多いことと思います。

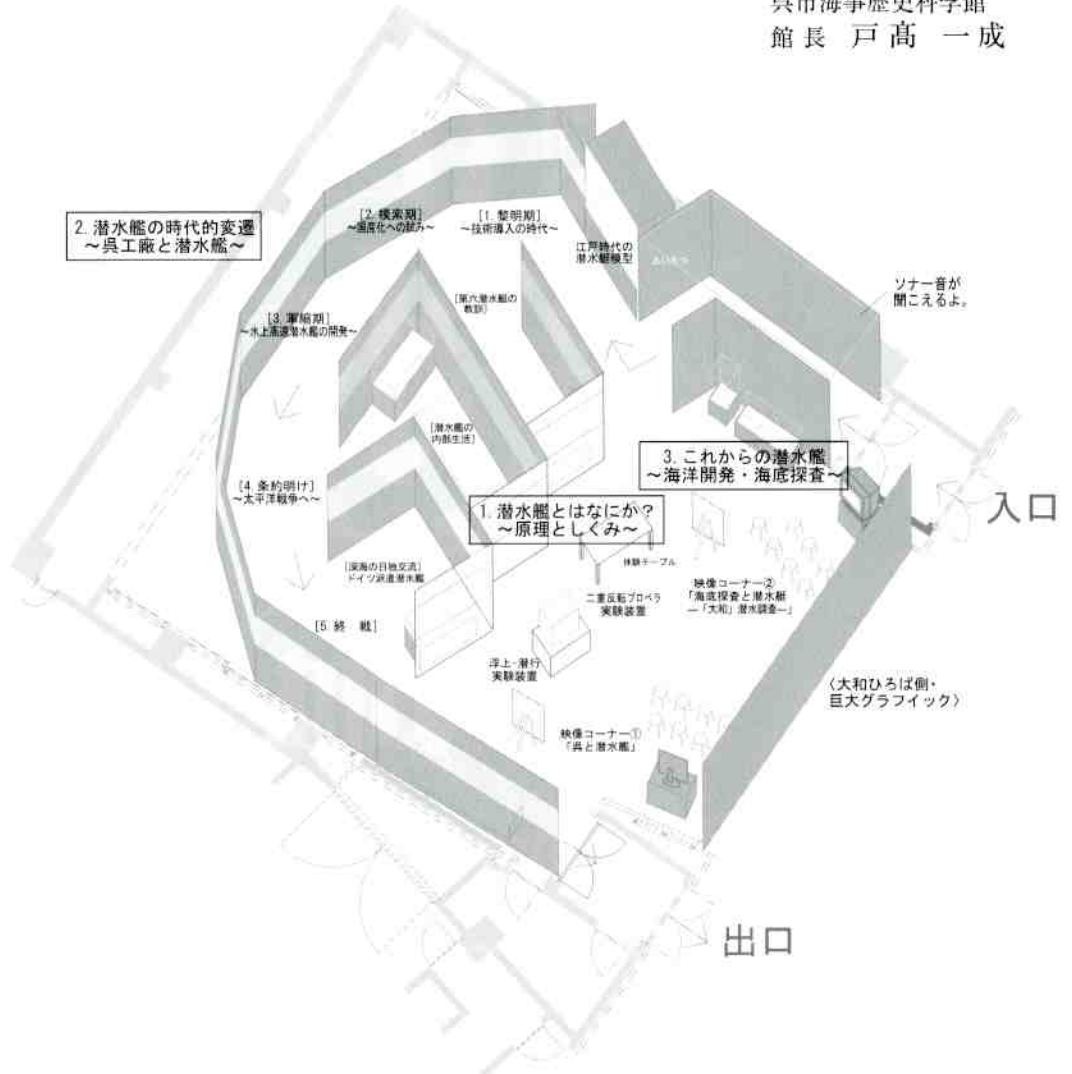
日本で潜水艦部隊が創設されたのは、今から102年前となる日露戦争直後の明治38(1905)年10月のこと。呉は、昭和4(1929)年、呉海軍工廠内に潜水艦部が設置されるなど、「潜水艦」の研究開発と建造の拠点となります。

日本海軍で建造された潜水艦234隻のうち、呉海軍工廠では、明治44(1911)年の「第10潜水艇」以来、昭和20(1945)年8月の終戦までに51隻*の潜水艦が竣工しました。

本企画展にご来場いただきました皆様には、常に時代の先端技術が注がれた「潜水艦」の研究開発・建造の資料から「潜水艦」と縁の深い呉の歴史を知っていただくとともに、戦争の時代の「潜水艦」乗組員や関係者の記録から平和の大切さを考える機会としていただければ幸いです。

*ほかに実験艦、潜水作業船等3隻がある。

呉市海事歴史科学館
館長 戸高一成



関連科学実験講座

深海実験教室

—海底1000mの世界が
目の前にやってくる—

加圧水槽をつかって深海の
世界を体験します。(写真)



日時

6月2日(土) 13:00~14:00 15:00~16:00
3日(日) 11:00~12:00 13:00~14:00
15:00~16:00

場所

大和ミュージアム3階 実験工作室
(申し込み不要・無料)

協力：独立行政法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC)